第１号様式（第７条関係）

罹災証明書交付申請書

年　　月　　日

（あて先）八尾市長

次のとおり、住家の罹災証明書の交付を申請します。

申請者	区分	□住家居住者　□住家（貸家）所有者　□住家（貸家）所有者の同居親族 □その他代理人（※委任状が必要です。併せて委任者の区分もチェックしてください。）				
	住所					
	氏名	※署名又は記名押印をして下さい		電話：		
	※必ず、申請者本人確認書類（写真付きは１点、写真なしは２点）の提示が必要です。					
被災住家の所在地	八尾市					
罹災日時	年　　月　　日　　午前・午後　　時　　分					
罹災原因						
主な罹災箇所						
被災住家種　　別	□持家（居住者兼所有者）　□借家（居住者） □貸家（所有者）【所有者氏名：　　】【所有者住所：　　】					
証明必要数	枚　（提出先：　　）					
居住者世帯主	住所					
	氏名			電話：		
居住者世帯構成員 ※住家居住者が申請する場合は記入	氏名	続柄	生年月日	氏名	続柄	生年月日
			T・S・H・R 年　月　日			T・S・H・R 年　月　日
			T・S・H・R 年　月　日			T・S・H・R 年　月　日
			T・S・H・R 年　月　日			T・S・H・R 年　月　日
自己判定方式の希望有無 ※裏面参照	□自己判定方式による証明書交付を申請します。 □被害程度が『準半壊に至らない（一部損壊）』と判定されることに同意します。 □被害状況が分かる写真、その他災害により被害が生じたことを確認できる資料を添付します。 ※自己判定方式で自ら結果に合意できる場合のみ３か所にチェックしてください。					

※申請者が罹災した住家の居住者又は所有者（その同居親族含む）以外の場合は、委任状が必要です。

委任状

（あて先）八尾市長　　年　　月　　日

私は、上記罹災証明書交付申請にあたり、代理人＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿にその申請を委任します。

委任者 住所：

氏名：　　※署名又は記名押印をして下さい

◎自己判定方式とは

・被害の程度が軽微な場合において、申請者が被害状況を確認できる写真やその他災害により被害が生じたことを確認できる資料を添付し、被害認定を行う方式です。

・罹災証明書の被害程度認定区分は、『準半壊に至らない（一部損壊）』となります。

・認定区分が『準半壊に至らない（一部損壊）』と決定することに同意した上で申請ください。

※自己判定方式以外の場合は、現地調査を実施した上での被害認定を行います。

◎被害程度認定区分の例□

被害の程度	住家全体に対する 損害割合
全壊	５０％以上
大規模半壊	４０％以上　５０％未満
中規模半壊	３０％以上　４０％未満
半壊	２０％以上　３０％未満
準半壊	１０％以上　２０％未満
準半壊に至らない （一部損壊）	１０％未満

◎写真撮影における注意点

・表札や郵便ポストなど、当該住家の居住者名が分かる部分の近景を撮影してください。

・住家全体が分かる遠景をなるべく４方向から撮影してください。

・被害が生じた部分の近景を撮影してください。

・被害が生じた部分の遠景（部屋全体）を撮影してください。